

## <アピール>

### 被爆 70 年、不戦・核兵器廃絶の決意を新たに

被爆 70 年の今年、世界で唯一の戦争被爆国である日本で、決してあってはならないことが起きました。昨年、自民・公明の安倍政権は、集団的自衛権を容認する閣議決定を行ないました。戦争放棄、戦力不保持、交戦権の否認をうたう憲法 9 条を国民に可否を仰ぐこともなく踏みにしり、この 9 月、世界で唯一の戦争核使用国である米国の始める戦争に日本が加担することを可能にする安保関連法を強行可決したことです。

みずからの被爆体験をとおして、70 年前に広島と長崎で起きた生き地獄を絶対に再現してはならない、ふたたび被爆者をつくるなど訴え続けてきた被爆者は、安倍政権が、多数の国民の意思に反して安保関連法を強行可決した暴挙を決して許すことはできません。

核兵器という最悪の暴力によって、命を奪われ、心と体を無残に傷つけられ、被爆の後遺によって死ぬまで苦しめられ続けている被爆者は、いかなる暴力にも反対します。安倍政権の暴挙は、政治の暴力以外の何物でもありません。

わたしたちは、来年、日本被団協結成 60 年を迎えます。安倍政権の暴挙を阻止し、憲法に従って国政を運営する立憲主義を貫く国会と政府がつくられることを強く希望します。刷新された国会と政府によって、違憲の閣議決定および安保関連法を廃止し、戦争も核兵器もない世界の実現へ世界の先頭に立つことを強く願います。希望と願いの実現へ、安保関連法に反対するすべての人々と手をつなぎ、それぞれができることに力をつくすことを被爆者として呼びかけます。

2015 年 10 月 18 日

日本原水爆被害者団体協議会 全国都道府県代表者会議